

科目名	地方自治論（分権と自治） Autonomy in Local Government						
科目担当者	甲斐 睦教 KAI Mutsunori						
単位数	2	配当年次	3年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>私達の生活に直接係る我が国の地方自治の理念、その歴史や制度などを踏まえて、現在の地方自治のすがたを検証します。</p> <p>講義では、近年地方分権改革が進められている中で、国と地方公共団体との関係、地方議会の役割、道州制の導入などの課題を考察し、また、地方自治に関するニュースや話題についても取上げながら、望ましい地方自治のありかたを探求します。</p>						
授業の到達目標	<p>① 地方自治の制度や組織など現状の仕組みを理解する。</p> <p>② 地方自治の歴史的変遷、特に地方分権の経緯を理解する。</p> <p>③ 地方の自立に向けた自治体の役割や行政の在り方を自ら考察する。</p>						
授業計画・内容	1	地方の環境変化と地方自治					
	2	日本の地方自治のあゆみ					
	3	地方自治の意義と法体系					
	4	地方公共団体の種類や形態					
	5	広域行政と市町村合併					
	6	道州制導入の現状と課題					
	7	地方公共団体の住民と住民自治					
	8	地方公共団体の事務					
	9	地方公共団体の立法					
	10	地方公共団体の議会					
	11	地方公共団体の執行機関					
	12	地方公共団体の財務					
	13	国と地方公共団体の関係					
	14	地方公共団体相互の関係					
	15	今後の地方自治の目指すべき方向					
授業外学修 (事前学修)	毎回教科書の対象範囲を熟読し、ノートにまとめてみる。(毎週2時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	毎回授業内容について要点を確認し、ノートを正しく整理する(毎週2時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験 2回の課題の提出				80% 20%		①、②、③ ①、③
成績評価基準	<p>秀：(評点90点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点80点～89点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点70点～79点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点60点～69点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点60点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	大森彌／大杉覚 『これからの地方自治の教科書』第一法規						
参考文献	久世 公堯 『地方自治制度(第7次改訂版)』学陽書房						
その他							